

# みくに支部社協だより

2014.5月号

発行元：みくに支部社協委員会  
発行：坂井市社会福祉協議会

みくに支部社協委員会(任期2年間 平成24年4月～平成26年3月)では、「みくに支部住民福祉活動計画」(平成24～28年度)の推進に取り組みました。2年間の活動を中間報告としてまとめました。



茶話会後の記念撮影 2/19

## 2年間で取り組んだこと

委員会開催数  
H24 9回  
H25 8回

みくに支部住民福祉活動計画・年間計画に基づき会議や事業を推進するとともに、支部事業の課題及び解決方法を協議しました。

【主催・協賛事業】 あい愛まつり、ムラタクン★天空のロボット展 (H25)、ふくしのつどい事業



ふくしのつどい



あい愛まつり

## 見えてきた課題

①住民福祉活動計画の柱1〈地区ふくしの会の強化〉

- 地域福祉部会が出された主な課題
  - ・地域福祉の活動の全般的な強化
  - ・福祉委員の成り手不足
  - ・個人情報の問題(社協独自の調査)
  - ・民生委員、区長、福祉委員の三者ネットワークが必要
  - ・福祉委員の短期で交代による課題
  - ・まちづくり協議会との連携強化
  - ・地域活動の活発化のために社協の支援が必要

②住民福祉活動計画の柱2

〈みくにボランティア団体・連絡会の強化〉

- ボランティア部会が出された主な課題
  - ・楽しい企画が大事(例えば、エンディングノート、出張ボランティアカフェなど)
  - ・ボランティアをコーディネートする人材が不足
  - ・ボランティア活動をいろんな場所で周知をする必要
  - ・ボランティアに関する調査の実施

- ・若い人材が参加できるような企画
- ・ボランティアの在り方、必要性の検討

## 今後取り組みたいこと

住民福祉活動計画の柱である基礎組織「地区ふくしの会」や「ボランティア団体」の強化を図るため、2年間の協議で見えてきた課題に対して、支部社協ができる解決方法を具体的に実施していき側面的な支援を実施していく。

●委員からの一言(最終会議・茶話会にて)

- ・これからも地域福祉に協力したい。
- ・しっかりした地区ふくしの会を作ってほしい。
- ・あい愛まつりに小学生が参加し、子どもたちと繋がったのでよかった。



- ・老人会と地区ふくしの会が力を合わせやっていきたい。
- ・3月末で役職を辞めるがこれからも協力していきたい。

- ・あい愛まつりに子供たちの参加者が増え、その家族も来てくれた。このまま継続して行ってほしい。
- ・社協が進めているネットワーク作り(あい愛まつり等のイベントなど)を生かしてほしい。
- ・新しい仲間に入ってもらうのは大変。
- ・あらゆる角度からみて新陳代謝を進めていけると良い。
- ・大変と思ったが2年間楽に出来た。会議を重ね活動が萎んだように思う。何かやらなければと思っている。
- ・1年間関わったが、人を巻き込むことは難しいと思った。
- ・たくさんの団体と情報交換をしながら活動の充実を図ることが大切。
- ・何年前かと課題は変わっていない。協力できることはしていきたい。
- ・社協職員には、もっと地域に出かけて支援してほしい。
- ・サロンなどで参加する要援護者の現状を把握したり、安否確認ノートを作り民生委員・福祉委員などが情報を共有する仕組みを作りたい。



茶話会(振り返り)